

## ボランティア活動

1 単位 (選択) 1 年

### Introduction for volunteer

二宮 恒夫・教授/保健学科 看護学専攻 母性・小児看護学講座

【授業目的】 ボランティアの理念、目的、意義、現状や問題点を学習した後に、学生の主体的な計画の下にボランティア活動を体験する。ボランティア活動はもうひとつの信頼を育むコミュニケーションであることを学ぶ。

【授業概要】 ボランティアの理念、目的、意義、現状や問題点を講義する。徳島大学病院など徳島県内のボランティア募集状況を紹介する。学生が主体的にボランティアを選択し活動する。

【キーワード】 無償性・自主性・公益性、近隣型・組織型ボランティア、NPO(非営利組織) 法人、守秘義務、信頼

【履修上の注意】 ボランティアの理念、目的を守り活動すること。

【到達目標】 1) ボランティアの理念を説明できる。 2) ボランティアのタイプと活動パターンを説明できる。 3) ボランティア活動の基本原則を説明できる。 4) 実際のボランティア活動を説明できる。 5) ボランティア活動参加の意義を説明できる。 6) ボランティア活動と NPO(非営利組織) 法人の関係、NPO 法を説明できる。 7) ボランティア活動をめぐる論点を説明できる。 8) 特定非営利活動の種類と、その具体的活動を説明できる。 9) 社会福祉協議会の活動を説明できる。

#### 【授業計画】

1. ボランティアの理念(無償性、自主性、公益性)
2. ボランティアのタイプと活動パターン
3. ボランティア活動の基本原則
4. 実際のボランティア活動
5. ボランティア参加の意義
6. ボランティア活動と NPO 法人
7. ボランティア活動をめぐる論点
8. 特定非営利活動の種類と、その具体的活動
9. 社会福祉協議会の活動
10. 自分にあったボランティア活動は?
11. 徳島大学病院、徳島県内のボランティア募集の紹介、申し込み方法
12. 講義終了後、小テストを行う
13. 以後の時間は、各自ボランティア活動を行う

【成績評価】 小テスト結果(50%)と、ボランティア体験の活動報告書(50%)で総合評価する。なお、報告書の記載内容は、所定の用紙をあらかじめ配付するが、(1) 活動日時・場所・実働時間、(2) 活動内容(簡潔に)、(3) 活動の自己評価(400 字程度)の 3 項目からなる。(4) 報告書には、ボランティア主催者(責任者)の署名か捺印が必要である。報告書の提出締め切りは、平成 24 年 1 月末

とする(厳守)。報告書を締め切りまでに提出しなかった者は、受講しなかったものとみなす。

【教科書】 教科書として特別なものはない。作成した資料やプリント、ボランティア募集案内を配付し講義する。

【参考書】 (感心のある方は貸し出し可能) 岩波書店編集部編:ボランティアへの招待(岩波書店) 秦 辰也:ボランティアの考え方(岩波書店) 金子郁容:ボランティア—もうひとつの情報社会—(岩波書店) 田中尚輝:ボランティアの時代—NPO が社会を変える—(岩波書店)

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217786>

#### 【連絡先】

⇒ [ninomiya@medsci.tokushima-u.ac.jp](mailto:ninomiya@medsci.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 看護学講座教員研究室(二宮)(保健学B棟3階), 昼食時あるいは17時~18時)